

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

秋田県地方独立行政法人秋田県立病院機構 リハビリテーション・精神医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	23,340	非該当	15:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

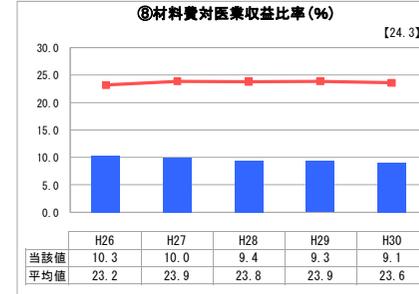
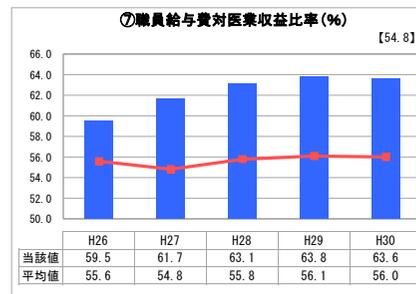
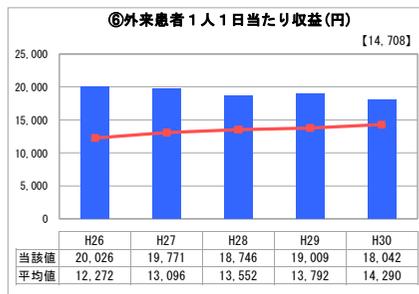
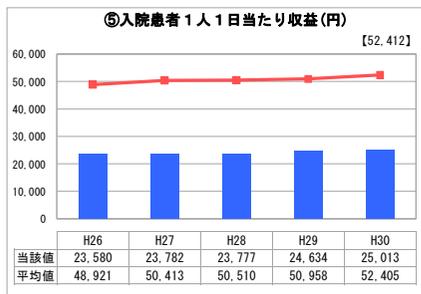
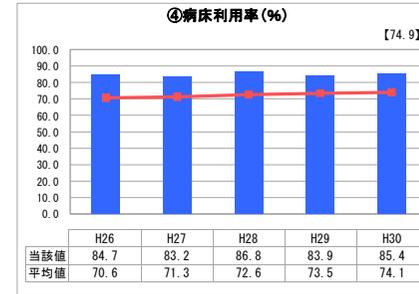
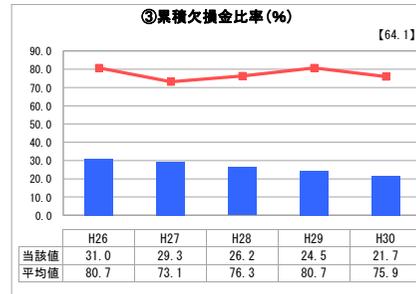
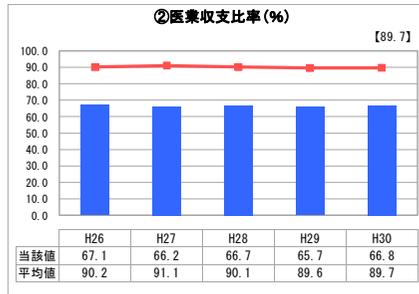
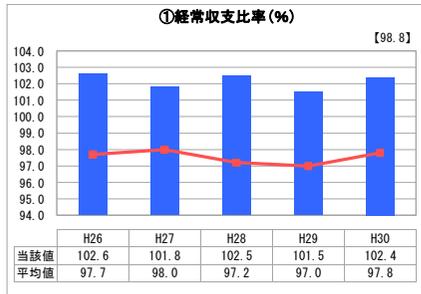
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
200	-	300
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
50	50	100

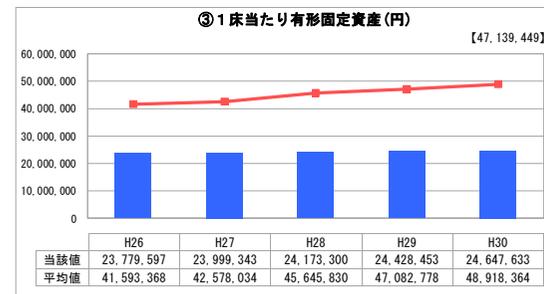
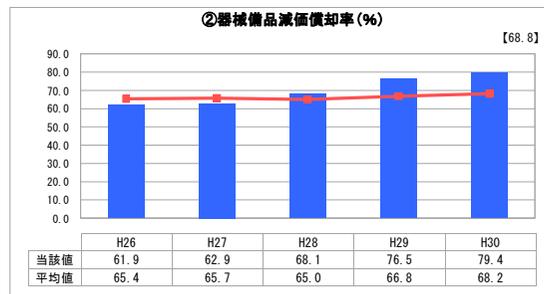
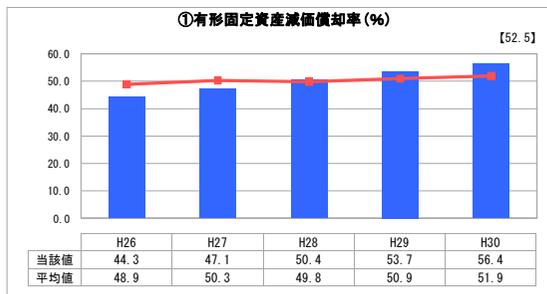
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	平成21年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

秋田県精神科救急医療体制整備事業で位置づけられた精神科救急の全県拠点病院として、救急患者の受け入れを行っている。  
また、秋田周辺及び由利本荘・にかほ精神科救急医療圏の輪番制当番病院として、当番の受け入れ回数を増やすなどにより、地域における精神科救急病院としての役割を強化している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①大規模な減価償却が終了しており100%を上回った。②精神科救急の全県拠点病院として不採算医療を担っており全国平均を下回った。③毎年度純利益を計上しており圧縮傾向にある。④効率的なペドコントロールにより前年度を上回った。⑤収益性の低い精神科棟の運営や維持期リハビリを行っていることから全国平均を下回った。⑥精神科及びリハビリテーション科領域の専門的な治療の提供により全国平均を上回った。⑦平均年齢が年々増加傾向にあり全国平均を大きく上回っている。⑧高度急性期医療を提供しない精神科及びリハビリテーション科の専門病院であることから平均値を大きく下回った。

### 2. 老朽化の状況について

①及び②については年々増加傾向にあり、今後、計画的に建物設備や医療機器等の更新を行っていく必要がある。  
③固定資産への投資が適切に行われていることや、高度急性期医療を提供しない精神科及びリハビリテーション科の専門病院であることから平均値を大きく下回っている。

## 全体総括

平成30年度は、194,024千円の純利益を計上した。  
今後も引き続き収益増加と費用圧縮に努め、繰越欠損金（H30年度末時点222,797千円）の早期解消を目指す。